

2026年8月12日

株式会社岩手銀行

**「いわぎん 30by30 プロジェクト  
～わくわくトープで夏の生き物調査！in 盛岡セイコー～」の実施について**

岩手銀行（頭取 岩山 徹）は、盛岡セイコー工業株式会社（代表取締役社長 滝澤 勝由）と共同で、当行が2023年10月から参画している「生物多様性のための30by30 アライアンス」の一環として、「いわぎん 30by30 プロジェクト～わくわくトープで夏の生き物調査！in 盛岡セイコー～」を開催しましたのでお知らせいたします。なお、当行と盛岡セイコー工業株式会社の共同による夏の生き物調査の実施は昨年引き続き2回目となります。

30by30 とは、生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

当行は今後とも地域社会が抱える課題の解決に積極的に取り組み、持続可能な社会の構築に努めてまいります。

記

**1. 実施日**

2026年8月1日（土）

**2. 実施内容**

盛岡セイコー工業株式会社敷地内のビオトープ「わくわくトープ」において、当行職員および家族など20人が参加し、伊達生物調査事務所の伊達 功氏および岩手県立大学総合政策学部教授の辻 盛生氏を講師として、当該地に生息する生き物調査を実施しました。本調査は、当該地における生態系変化のモニタリングを目的としています。調査の結果、ギンブナ、トウホクサンショウウオ、クロゲンゴロウ、複数種のヤゴ、スジエビなどの生息が確認でき、生物多様性の保全に寄与しました。なお、調査を実施した「わくわくトープ」は、2024年に環境省より「自然共生サイト（※）」に認定されています。

※「自然共生サイト」は「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する30by30達成に向けた取組みの一つです。

**3. 盛岡セイコー工業株式会社の自然保護に関する取組み**

盛岡セイコー工業株式会社は、自然豊かな雫石の立地を生かし、自然との共生を重視した環境保全に取り組んでいます。敷地内を「わくわくの森」「わくわくトープ」として整備し、生物多様性の保全を推進しているほか、行政や地域と連携した森づくりや環境教室、社外での環境整備活動を実施し、自然保護への理解促進と継続的な保全活動を進めています。（当社 HP：<https://www.morioka-seiko.co.jp/>）

【イベントの様子】



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

地域貢献部 平野、土井 宛 電話：019-623-1111（代表電話）